

データ作成時のご注意

■作成サイズについて

- データは新サイズで作成してください。

■データ作成について

- ①すべて縦書き可能なフォントで作成してください。
- ②文字はすべて12pt以上で設定してください。
- ③色はCMYK（シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック）で作成してください。
- ④細線は0.2pt以上で設定してください。
- ⑤カラーデザイン、印刷可能な色は1色見限りで合わせてください。
- ⑥データは必ず両面で作成してください。
- ⑦印刷機を必ずご確認ください。印刷機はタイポアルファに付くものとなります。
- ⑧特別な文字や記号はPANTONEで色指定を行ってください。

■塗り足しについて

- ①ははのデザインは入稿される際、仕上がりサイズより外側の青線、ピンク線まで塗り足しを必ずしてください。
- ②黄色色以外の青線や赤線を使用する場合は、仕上がりサイズより外側の青線、ピンク線まで塗り足しを必ずしてください。
- ③塗り足しの多い場合や塗り足しが少ない場合、白抜きになる可能性があります。

■色について注意

- 色の指定は、印刷方法を指定により異なります。
- パソコンのモニターはイメージが異なるため必ず印刷をご確認ください。
- 印刷機の仕様差により同じ色指定の場合でも、色の再現が若干異なる場合がございます。

■画像使用について

- ①画サイズで解像度 300dpi 以上の画像をご提出ください。
- ②画像解像度 100dpi 以下の画像は拡大し、画像のぼけ等の問題はできません、ご了承ください。
- ③使用した画像は、Adobe 上で確認します。リンクでの配信で確認してください。
- ④Image Lab 対応、100dpi以上の解像度でファイル形式による拡大縮小を必ずご確認ください。
- ⑤転送している画像は必ず小さくしてご提出ください。
- ⑥JPG ファイルは印刷時に変換する恐れがございます。必ずご確認ください。
- ⑦画像を必ず両面でご提出ください。印刷機は必ず両面に印刷を行う仕様となります。

■アウトライン化について

- Adobe のご入稿の際は、必ずアウトライン化をお願いします。
- Font などは必ずアウトライン化をお願いします。

■特殊効果について

■カラープロット

最終結果、ドットプリンタ、ほかの印刷機に入稿時に変更の可能性があるためお断りいたします。もしご利用される場合は、必ず「プロトタイプ」の印刷を行います。印刷は必ずご確認ください。

■カラープロット

トランプの印刷となりますので、カラープロット指定をお願いいたします。

印刷機で印刷できない部分の印刷はご遠慮ください。

ご利用されていることにより、データの印刷や文字の消える危険がございます。

■カラープロット

カラープロットによる印刷は印刷機を利用している場合、バターのサイズや印刷機の種類が変更して印刷される恐れがございます。

ご利用される場合は、印刷機に「カラー印刷」を印字しないようご注意ください。

入稿時の注意事項

■データ作成ソフトについて

Apple Macintosh (OS9.0以降まで) Adobe Illustrator (バージョンは CS5 まで)

■データ入稿についてのおことわりとお断り

- ご入稿いただいたデータの内部や状況によって印刷できない場合もございます。
- データ作成不具合による再入稿に付、印刷が変更になる場合があります。ご了承ください。
- データの送付方法はデータを再入稿される際は、お手数ですが必ずご連絡ください。

印刷データ作成時の注意事項

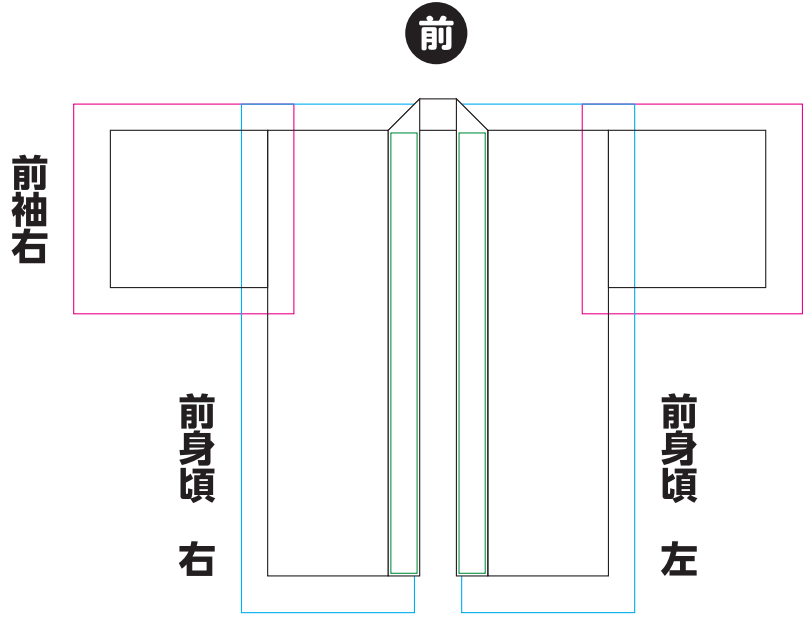
※ハッピ作成前に必ずお読みください！
※店舗名等のロゴをデータで支給いただく場合、下記に合わせてデータをご用意ください。

【黒線】 仕上がりサイズとなります。

【青線】 背景色が白以外の場合、仕上がりサイズより外側の青線、ピンク線で塗り足しを付けてください。

【緑線】 横の重要なデザインは緑線の内側に納めてください。

サイズ：身幅 650mm
着丈 850mm
袖丈 300mm
襟幅 60mm

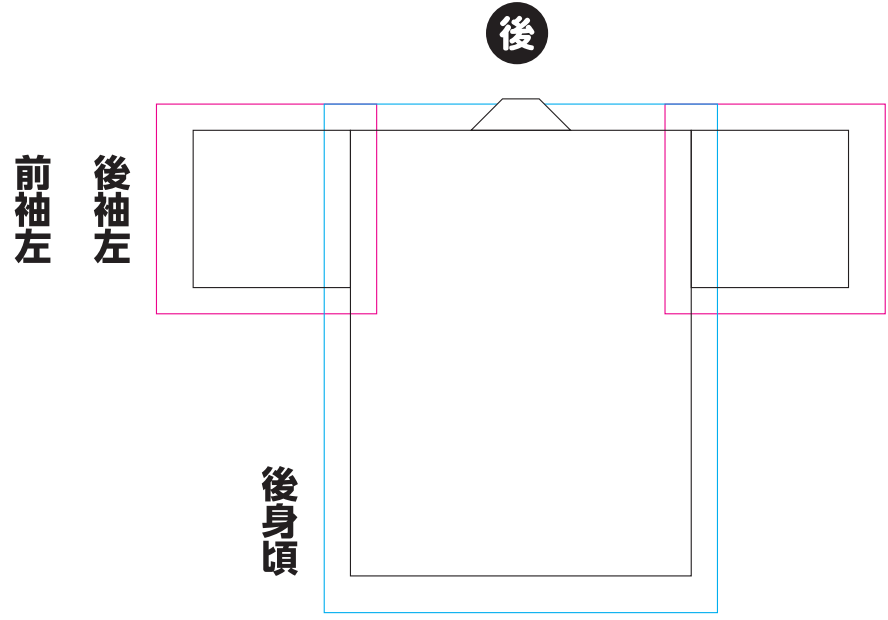


データ作成時のお願い

ご入稿前に『前袖右』『前袖左』『後袖右』『後袖左』『前身頃右』『前身頃左』『後身頃』のパーツそれぞれにクリッピングマスクの処理をお願いいたします。

パーツごとに裁断をし縫製いたしますので、パーツとパーツをまたいで柄が入る場合は、縫製時若干ズレる事をご了承ください。

柄が前面から後面にかかる場合は柄がズレていないか確認をお願いいたします。
赤、青、緑の破線がそれぞれ裏と表で繋がる箇所になります。



前後に柄がかかる場合は柄のズレがないか確認をお願いいたします。

※パーツごとにクリッピングマスクをした状態で後パーツを前のパーツに合わせてつなぎ目の柄を確認してください。

○ **良い例**

■作成データ

■肩のつながり

■脇下のつながり

× **悪い例**

■作成データ

■肩のつながり

■脇下のつながり